

高畑 純一郎 (たかはた じゅんいちろう)

2009年度 COE フェロー

連絡先 メールアドレス: ed042004@g.hit-u.ac.jp

専攻分野: 財政学

研究テーマ: 少子化の経済分析、税制・社会保障制度

博士学位論文請求題目(予定): 内生的出生選択と最適な社会保障設計

学歴

2002年3月 一橋大学経済学部卒業

2004年3月 一橋大学大学院経済学研究科修士課程(応用経済専攻)修了, 経済学修士

2004年4月 同博士課程(応用経済専攻)入学

2009年5月現在 同課程在学中

職歴

2004年5月~2004年7月 一橋大学大学院経済学研究科 TA (中級ミクロ経済学担当)

2004年10月~2005年3月 一橋大学大学院国際企業戦略研究科 TA (Microeconomics for Public Policy 担当)

2005年4月~2005年8月 一橋大学大学院国際企業戦略研究科 RA (井伊雅子教授)

2005年9月~2006年4月 ウェスタンオンタリオ大学経済学部 TA (Introductory Economics 担当)

2006年11月~2007年3月 一橋大学大学院経済学研究科 RA (山重慎二准教授)

2007年4月~2009年5月現在 一橋大学国際・公共政策大学院 TA (Econometrics 担当)

2007年11月~2009年5月現在 財務省財務総合政策研究所 研究員(非常勤)

2008年4月~2008年7月 横浜国立大学大学院国際社会科学研究所 非常勤講師

2008年5月~2008年7月 一橋大学国際・公共政策大学院 TA (ミクロ経済分析担当)

2008年10月~2009年5月現在 一橋大学グローバル COE「社会科学の高度統計・実証分析拠点構築」 COE フェロー

2009年5月現在 一橋大学国際・公共政策大学院 TA (ミクロ経済分析担当)

研究業績

・ディスカッションペーパー

高畑純一郎(2009)「年金財政方式の経済分析: 消費税方式の考察」 Global COE Hi-Stat Discussion Paper Series 043.

高畑純一郎(2009)「最適な出生率と育児支援政策の理論サーベイ」国立社会保障・人口問題研究所、ディスカッションペーパーシリーズ No.2008-J03.

Kazumasa Oguro and Junichiro Takahata (2009) "Child Benefit and Fiscal Burden with Endogenous Fertility," 世界平和研究所, IIPS Policy Paper 339E.

Junichiro Takahata (2009) "Endogenous Population Growth, Social Security, and Dynamic Inefficiency," 財務省財務総合政策研究所, PRI Discussion Paper Series No.09A-03.

・学会報告

「社会保障制度が出生率に与える影響に関する理論的考察」（山重慎二氏との共同研究）、第 61 回財政学会、2004 年 10 月 30 日、東北学院大学、事前の査読有り。

「女性の労働供給と育児支援の政治経済学」（小林航氏との共同研究）、第 9 回公共選択学会、2005 年 7 月 9 日、横浜市立大学、次善の査読有り。

“Endogenous Population Growth, Social Security, and Dynamic Inefficiency,” 日本経済学会 2008 年度春季大会、2008 年 5 月 31 日-6 月 1 日、東北大学、ポスター報告、事前の査読有り。

「年金財政方式の経済分析：消費税方式の考察」、口頭、2008 年 10 月 25 日、第 65 回日本財政学会、京都大学、事前の査読有り。

「年金と生活保護」（山重慎二氏との共同研究）、口頭、2008 年 10 月 26 日、第 65 回日本財政学会、京都大学、事前の査読有り、共同発表者：山重慎二氏。

照会先

山重慎二（一橋大学大学院経済学研究科准教授）

田近栄治（一橋大学大学院経済学研究科教授）

佐藤主光（一橋大学大学院経済学研究科准教授）